

2007年7月20日

「健康食品」の安全性確保に関する検討会ヒアリング意見書

- 団体の名称 : 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan)
- 代表者氏名 : 理事長 木村 修一 (本件担当: 食品リスク研究部会 坂間厚子)

- 団体の概要 (詳細はこちらのURLをご参照ください。 <http://www.ilsijapan.org/>)

ILSI とは

International Life Sciences Institute, ILSI は、1978年にアメリカで設立された国際的な非営利の学術組織で、科学的な視点で、健康・栄養・安全・環境に関わる問題の解決および正しい理解を目指すとともに、今後発生する恐れのある問題を事前に予測して対応していくなど、活発な活動を行っている。

ILSI Japan は1981年に設立され、ILSI の日本支部として世界的な活動の一翼を担うとともに、日本独自の問題にも積極的に取り組んでいる。

ILSI Japan の目的

健康、栄養、食品安全、環境にかかわる科学的課題について、国際的な調和を図りつつ、最新の信頼ある科学に基づいてそれらの解明と普及啓発をはかるための事業を行い、日本国民並びに世界の人々の栄養と健康の増進、食の安全の確保、環境の改善に寄与することを目的としている。

ILSI Japan の組織構成

ILSI Japan の目的に賛同した81の個人および団体(2007年1月現在)が活動を支えており、大きく3つの研究会(食品安全、栄養健康、食品機能性)と国際協力などを行う各種委員会から成り立っている。

ILSI Japan の事業

調査研究の実施、調査研究成果の発表、科学情報の普及・啓発、国内外の関連機関との交流・連携、出版物の発行。

○ 「健康食品」の安全性確保に関する意見内容

ILSI Japan 食品リスク研究部会では、「食品の安全性評価の考え方を学び、その普及に努める」という活動目的のもと、2005年の夏から約2年間をかけて食品の安全性評価フローを検討し、ILSI Japan レポートシリーズとして2007年6月に「食品の安全性評価のポイント」を発刊した。

健康食品の安全性確保においては、安全性について様々な視点を持ちながら評価を行うことが大切である。「食品の安全性評価のポイント」は、各評価ステップにおける考え方を網羅的に示しており、『「健康食品」の安全性確保に関する検討会』における、評価・検討の際の参考資料として活用されることを強く期待し、紹介するものである。

～「食品の安全性評価のポイント」について～

2005年5月のILSI Japan 食品リスク研究部会、第5回講演会で、林裕造先生より「食経験の少ない食品の安全性評価の考え方」についての基調講演があった。そこで、同講演内容をフローチャートのような形式で解説することができれば、食品の安全性を評価する際に大いに参考になるのではないかと、さらに、安全性評価の考え方に関する他の幾つかの資料(参考文献として掲載)と合わせ、考え方のポイントを網羅的に示すことができれば、より有用なものになると考えた。

「食品の安全性評価のポイント」は、安全性評価の既知の知見を基に、評価の際のヒントとなるよう、必見のポイントをフロー形式でまとめ、よりわかりやすくカラー刷りとした。また、厚生労働省の「錠剤、カプセル状等食品の原材料の安全性に関する自主点検ガイドライン」や食品安全委員会の「特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方」等、本フローを作成するに当たり参考としたいくつかの行政通知や論文については全文を末尾に添付した。

～本文より一部紹介～

食品の販売は原則自由である。これは、食品あるいは食品成分の安全性が「食経験」によって確かめられているという考えに基づいている。

一方、食経験が十分ある食品であっても、それらをこれまでに食経験のない水準または方法で摂取するような「食経験が限定的」な食品の販売の場合、得られた食経験情報のみでは人への安全性確保の説明根拠として不十分であることから、食経験の不足を科学的根拠により補うことによって、人の健康を損なうおそれがない旨の確証を得る必要がある。

以上の考え方に基づき、食品の安全性について食経験を中心とした評価を行えるよう、「食品の安全性評価のポイント」は大きく以下の5つのステップから構成されている。

- 「(1)安全性評価の前提条件」
- 「(2)食経験情報に基づく安全性評価ポイント」
- 「(3)安全性・有害性情報に基づく安全性評価ポイント」
- 「(4)科学的根拠に基づく安全性評価ポイント」
- 「(5)科学的安全性根拠の考え方ポイント」

(全体構成概要図を別紙として添付します。)

以上

「食品の安全性評価のポイント」の全体構成概要図

